
令和6年度第2回多文化共生推進委員会

令和7年3月14日（金）

議 題

1. 第2次刈谷市多文化共生推進計画の
重点協働プロジェクトの進捗について

重点協働プロジェクト

重点協働プロジェクトとは

第2次刈谷市多文化共生推進計画の基本目標の実現に向けての新規または拡充の取組のうち、市役所関係部署により横断的に進めるもの、市内の関係主体と連携・協働しながら進めるものを、重点協働プロジェクトと位置づけ、市民協働課が関係部署や関係主体と連携して推進します。

4つの重点協働プロジェクト

- (1) 外国人に伝わるコミュニケーションプロジェクト
- (2) モデル地区からの多文化交流プロジェクト
- (3) 外国人に伝わるコミュニケーションプロジェクト
- (4) 多文化共生の連携と発信プロジェクト

(1) 外国人に伝わるコミュニケーションプロジェクト

基本的考え方（第2次刈谷市多文化共生推進計画 抜粋）

外国人市民の増加、多様化、永住化に伴い、「コミュニケーション支援」、「生活に関わる支援」を実施するにあたり、関係部署により横断的に進める必要がある取組を推進するプロジェクトとして、市民協働課が中心となって実施します。

令和6年度の主な実施内容

- ① やさしい日本語の周知と利用促進
- ② 職員を対象とした外国対応のためのやさしい日本語の理解促進
- ③ 外国人市民の困りごと相談つなぎ方ガイドの整備・運用
- ④ 外国人が転入した際に配布するチラシの作成

(1) 外国人に伝わるコミュニケーションプロジェクト

① やさしい日本語の周知と利用促進

愛知教育大学主催で各国の文化紹介などを目的に12月21日（土）に開催された刈谷グローバルフェスタにおいて、やさしい日本語のゲームやチラシにより「やさしい日本語」を来場者に紹介しました。

【刈谷グローバルフェスタの様子】



【やさしい日本語のゲーム】

取り札（裏）

つか
使
っ
て
は
い
け
ま
せ
ん
。

取り札（表）

し
よ
う
き
ん
し
使
用
禁
止



し

(1) 外国人に伝わるコミュニケーションプロジェクト

②職員を対象とした外国対応のためのやさしい日本語の理解促進

外国人とのコミュニケーションでやさしい日本語を活用するためのセルフチェック（別添1）を市役所全職員を対象に実施しました。

回答率：約86%（未実施者に産休・育休等の職員を含む）

【設問1】「やさしい日本語」という言葉を聞いたことがある職員：約87%

【設問3】外国人に職務で接した際に、どういった方法でコミュニケーションを取ったか？

1位：やさしい日本語でコミュニケーションを取った（約65%）

2位：外国人相談員に支援してもらった（約33%）

3位：ポケトークやアプリ等の翻訳ツールを利用した（約32%）

4位：英語でコミュニケーションを取った（約21%）

5位：職務で外国人と接したことがない（約20%）

【設問4】日本語があまり話せないと思われる外国人にやさしい日本語で話すポイントとして、適切なものを選択 正答率：約84%

【設問5】日本語があまり話せないと思われる外国人と会話するにあたっての工夫として、適切なものを選択 正答率：約76%

(1) 外国人に伝わるコミュニケーションプロジェクト

【まとめ】

セルフチェックの結果を踏まえると、本市の職員が職務で外国人と接する機会は多く、「やさしい日本語」に関する周知が少しずつ進んでいると考えられます。

英語でのコミュニケーションは、話せる職員は少なく、相手の国籍も限られます。またポケトークなどが活用できるケースもありますが、コミュニケーションの内容は限定的です。

そういったことを踏まえ、「やさしい日本語」によるコミュニケーションが重要であると考え、今後も理解促進のためのセルフチェックや研修を実施します。

③外国人市民の困りごとつながり方相談ガイドの整備・運用

「外国人市民のための困りごと相談つながり方ガイドin刈谷（案）」（別添2）について、各関係相談機関（外部機関・市役所各部署）及び外国人コミュニティの意見を取りまとめて作成し、今後は翻訳する方向で調整しています。このガイドは、外国人市民が同じ国籍の人同士で困りごと相談ができる体制構築に役立てることを目的に作成しています。

(1) 外国人に伝わるコミュニケーションプロジェクト

④外国人が転入した際に配布するチラシの作成

外国人コミュニティのSNS、国際交流協会や市の多文化共生関連のホームページへのリンクを掲載したチラシ（別添3）を作成しました。今後、市役所市民課の窓口において、本市に転入してきた外国人に配布することで、外国人市民に対して外国人コミュニティや本市の多文化共生・国際交流施策の周知を図ります。

(2) モデル地区からの多文化交流プロジェクト

基本的考え方（第2次刈谷市多文化共生推進計画 抜粋）

地域で外国人と日本人が共に暮らすための相互理解を進めるため、モデル地区として多文化交流活動を実施してきた地域の活動を継続して支援するとともに、新たな地域への展開を図るプロジェクトとして関係主体と連携して推進します。

令和6年度の主な実施内容

- ①ワールド・スマイル・ガーデンーツ木の活動支援
- ②輪〜ると・ビレッジ小垣江の活動支援

(2) モデル地区からの多文化交流プロジェクト

①ワールド・スマイル・ガーデンーツ木の活動支援

ワールド・スマイル・ガーデンーツ木（略称：ワールドデン）は、国籍・性別・年齢に関係なく、多様な人々が集まって野菜や花を育てたり、料理や文化を紹介し合ったり、みんなで楽しむコミュニティガーデンです。約10年前に刈谷市と愛知県国際交流協会の支援を受けて、立ち上がった地域住民主体の団体です。

近年は、団体として自立した運営が行われており、市としては、主に年度当初の4月に開催する実行委員会の運営支援を行っています。

令和6年度の作業日1日あたりの参加実績平均は約34人（うち外国人13人）となっています。

【活動の様子】



(2) モデル地区からの多文化交流プロジェクト

② 輪〜るど・ビレッジ小垣江の活動支援

輪〜るど・ビレッジ小垣江（略称：輪ビオ）は、ワールドデンのような多文化共生のための地域住民の交流の場を創り出すことを目的に、昨年度に刈谷市の支援を受けて立ち上がった団体です。現在プランター菜園での野菜作りやイベント企画などを通して、地域の外国人と日本人の交流に取り組んでいます。また、プランターではなく、ワールドデンのように地植えができるガーデンでの活動を目指して検討を進めています。

今年度の活動はグローバルレターVol10（別添4）に掲載しています。また、地域に住む外国人との交流を深めること目的としたイベント「刈谷グローバルフェスタ」へ参画し、来場者へ活動の紹介を行いました。

【活動の様子】



(3) 外国人コミュニティとの連携プロジェクト

基本的考え方（第2次刈谷市多文化共生推進計画 抜粋）

外国人コミュニティを支援するとともに、外国人コミュニティ及び外国人キーパーソンと連携・協働の体制を構築し、その運用を図るプロジェクトとして関係主体と連携して推進します。

令和6年度の主な実施内容

- ①外国人コミュニティの活動支援（イベント）
- ②外国人コミュニティの活動支援（情報発信）
- ③相談支援における「つなぎびと」としての活動支援に向けた検討

(3) 外国人コミュニティとの連携プロジェクト

①外国人コミュニティの活動支援（イベント）

フィリピン人コミュニティ「SBK」、ベトナム人コミュニティ「VNK」、ブラジル人コミュニティ「Oasis Brasil」による、それぞれの国の文化を地域住民に紹介したり、それぞれの国籍の人同士で交流するためのイベント実施・イベント参画を支援しました。

【多文化交流フェスタ】

外国人市民や日本人市民が遊びや文化紹介などを通して、交流を深めることを目的に刈谷市国際交流協会が主催



SBK



VNK



Oasis Brasil

(3) 外国人コミュニティとの連携プロジェクト

【VNK主催の中秋祭】



【Oasis Brasilの書き初めイベント】



【刈谷グローバルフェスタ】

愛知教育大学主催で各国の文化紹介などを目的に開催された。VNKがブース出展



(3) 外国人コミュニティとの連携プロジェクト

②外国人コミュニティの活動支援（情報発信）

各外国人コミュニティのSNSを通して、外国人にとって役立つ情報や外国人向けのイベント情報を発信。例えば、出入国在留管理局が開催する「外国人のための合同相談会」、多文化交流フェスタなどの情報を各外国人コミュニティのSNSに掲載していただきました。

③相談支援における「つなぎびと」としての活動支援に向けた検討

令和7年3月9日（日）に各国コミュニティの代表者を集めたミーティングを開催しました。相談支援における「つなぎびと」としての活動支援に向けて、「外国人市民のための困りごと相談つなぎ方ガイドin刈谷（案）」（別添2）の内容や現状の同じ国籍の人同士での相談体制の実情について意見交換を行いました。

(4) 多文化共生の連携と発信プロジェクト

基本的考え方（第2次刈谷市多文化共生推進計画 抜粋）

先進的な取組について発信することでその成果をアピールし、広域的な多文化共生の推進に貢献します。

また、関係団体との連携強化のためのプロジェクトとして、特に刈谷市国際交流協会及び企業との連携強化を図ります。

令和6年度の主な実施内容

- ① 輪～ると・ビレッジ小垣江の取組を発信
- ② 刈谷市国際交流協会の事業実施体制に関する検討
- ③ 企業との連携

(4) 多文化共生の連携と発信プロジェクト

① 輪〜るど・ビレッジ小垣江の取組を発信

輪〜るど・ビレッジ小垣江の取組をまとめたグローバルレターVol10（別添4）を作成し、小垣江地区の全戸へ配布するとともに、イベント来場者への配布や刈谷市ホームページへの掲載をして、活動内容を発信した。

② 刈谷市国際交流協会の事業実施体制に関する検討

刈谷市国際交流協会と刈谷にぎわいオフィス（誰もが活躍できる“にぎわい”あるまちを目指して本市で設立された）によるイベントなどにおける連携・協力について意見交換しました。

③ 企業との連携

刈谷市国際交流協会が主催する「初期日本語教室」の広報にあたり、外国人住民の多い小垣江町及び一ツ木町の中小企業において、企業内広報に協力していただきました。

(5) その他

ワールド・スタディ講座の実施

ワールド・スタディ講座は学校からの依頼に対して、市が外国人講師や、専門ファシリテーターなどをコーディネートして、多文化共生や国際交流に関する出前講座を実施するものです。令和6年度はワールド・スマイル・ガーデンツ木の代表である及川様を講師に迎え、刈谷北高等学校の国際探求科で講座を実施しました。講座の内容は、講師からの講義やグループワークを通して、刈谷市の多文化共生施策、地域における多文化共生において大切なことや課題及びSDGsなど国際規模の課題について理解を深めてもらうというものです。

【刈谷北高等学校での講座の様子】



議 題

2. 第2次刈谷市多文化共生推進計画に関する令和7年度の取組予定について

令和7年度の取組予定

① 30の各施策についての進捗管理

第1回の本委員会で報告した30の各施策の見込・目標について、引き続き進捗管理を行います。

② 外国人に伝わるコミュニケーションプロジェクト

やさしい日本語について、市職員に対して研修を実施するとともに、各種イベントの機会を活用した市民への理解促進を行います。
「外国人市民の困りごと相談つなぎ方ガイド」の整備等を引き続き実施します。

③ モデル地区からの多文化交流プロジェクト

ワールド・スマイル・ガーデンツツ木や輪〜るど・ビレッジ小垣江の活動支援を引き続き実施します。特に活動への参加者を増やすための方策の検討を行います。

令和7年度の取組予定

④外国人コミュニティとの連携プロジェクト

相談支援における「つなぎびと」としての外国人市民の活動を支援することを目指して、各国の外国人コミュニティと意見交換のためのミーティングを実施します。

外国人コミュニティによるイベント実施・イベント参画及び情報発信のための支援を引き続き実施します。

⑤多文化共生の連携と発信プロジェクト

多文化共生コミュニティガーデン、外国人コミュニティ形成、ワールドスタディ講座などの本市の先進的な取組について、各種媒体やイベントを通じての発信を模索します。

国際交流に関する取組について、国際交流協会や刈谷にぎわいオフィスと連携して、実施体制を検討します。